

●製品の仕様、付属品およびデザインは予告なく変更する場合があります。記載内容は 2025 年 10 現在のものです。

機能拡張ソフトウェア（AI 混雑検知アプリケーション）

WV-XAE207WUX

■概要

- 機能拡張ソフトウェア WV-XAE207WUX（以下、本製品）は、AI ネットワークカメラ（別売り、以下カメラ）をより便利にお使いいただくためのソフトウェアです。本製品をカメラにインストールし、解除キーを登録することで、AI 混雑検知機能の設定条件に基づいたアラームを WV-ASM300/WV-ASM300W（別売り）や WJ-NX シリーズネットワークレコーダー（別売り）など外部のシステムに通知することができます。
- 本製品は、カメラ 1 台ごとに必要です。
- 本製品の対応機種、ソフトウェアバージョンなどの情報は、以下の URL を参照してください。
https://i-pro.com/products_and_solutions/ja/surveillance/learning-and-support/knowledge-base/compatibility
<管理番号：C0103>

■特長

- 本製品は、既存の i-PRO 監視システムに、追加で組み込むことが可能です。
（AI ネットワークカメラと本製品だけを追加）
- 本製品は、設定した条件になるとアラームを指定した通知先へ通知します。
- 本製品は、検知した人（台）数情報を定期的に指定した送信先へ送信します。
- 本製品には、以下の特徴があります。
 - ① ディープラーニング技術と弊社独自の画像処理技術により、被写体を検知し、混雑を検知することができます。
 - ②カメラに本製品をインストールするだけで、カメラ単体で混雑検知が可能です。

■仕様

- | | |
|------------|--|
| ●混雑検知方法 | 対象エリアで設定時間の間に設定人（台）数以上を継続すると検知 |
| ●検知オブジェクト | 人物、車（普通自動車、バス、トラック）、二輪車（バイク、自転車）、AI 現場学習オブジェクト※1 |
| ●検出可能な画角 | 俯角 45° 以内 |
| ●最大カウント数 | 人物、車、二輪車：40 AI 現場学習オブジェクト：20 |
| ●設定エリア数 | 最大 4 個 |
| ●検知数 | エリア毎に 1～40 |
| ●検知までの時間 | エリア毎に 0.1～3600（秒） |
| ●HTTP 定期送信 | 送信先 4 カ所、送信間隔 5, 10, 15 秒, 1, 5, 10, 15, 30, 60 分、SSL 対応 |
| ●設置場所 | 人物：屋内（直射日光で白飛びしない軒下を含む）
車両、二輪車、現場学習オブジェクト：屋内（直射日光で白飛びしない軒下を含む）
または屋外 |
| ●照度 | 50 lux 以上（被写体周囲） |

※1 AI 現場学習オブジェクトは、AI 現場学習アプリケーションによる「新規検知対象追加」が必要です。

■商標および登録商標について

- Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

- Google Chrome は Google LLC の商標です。
- Mozilla、Firefox は、米国およびその他の国における Mozilla Foundation の商標です。
- ONVIF は、ONVIF Inc.の商標です。

■制約事項

以下のような場合、被写体を検出しにくい、または誤検知になることがあるため、正しく混雑を検知できないことがあります。

- 被写体にピントが合っていない。
- 被写体がぶれている。
- 被写体が白飛び、あるいは黒潰れしている。
- 人物の肩以上、被写体が 2/3 以下しか映っていない。
- カメラ撮像角度が俯角 45°より大きい。
- カメラの「設定」メニュー > 「映像/音声」 > 「画質」で設定されたプライバシーゾーンに隠れて、被写体が一部しか映っていない。
- 被写体がカメラに近すぎる。
- 被写体が小さすぎる（仕様の肩幅以下のサイズ）。
- 人形やポスターなどを検知することがあります。
- 横たわっている人物や倒れている人物を検知できないことがあります。

その他の注意事項を以下に記載します。

- カメラに映っている被写体が 40 人（台）以上の場合、検出できない被写体があり、正しく混雑検知できなくなります。
- 「撮像モード」は、30 fps モードだけに対応しています。
- AI 混雑検知アプリケーションが対応している「画像回転」設定は、「0°（Off）」と「180°（上下回転）」です。
- ネットワークカメラの場合、AI 混雑検知アプリケーションをインストールすると、配信フレームレートが最大 30 fps から最大 15 fps に制限されます。
- AI 混雑検知アプリケーションが動作中に、カメラ本体の撮像モードやストリームの設定を変更すると、アプリケーションは再起動します。AI 混雑検知アプリケーションの設定画面・デモ画面を開いている場合は再読み込みしてください。
- プライバシーゾーンを設定している場合、プライバシーゾーン内では被写体を検知できません。
- 独自アラーム通知のメッセージ ID はエリア 1:「98」、エリア 2:「99」、エリア 3:「100」、エリア 4:「101」になります。
- 複数の独自アラーム通知を同時に使用する場合、WJ-NX シリーズネットワークレコーダーの「アラーム マスク時間」設定により、一つの独自アラーム通知が受信されると、「アラームマスク時間」以内の他の独自アラーム通知は受信されません。
- 独自アラーム通知設定については、カメラ本体の取扱説明書の独自アラーム通知を参照ください。
- 設定画面・デモ画面を表示するには、Mozilla Firefox、Google™ Chrome™、Microsoft Edge をお使いください。Internet Explorer には対応していません。
- デモ画面は 1 つのブラウザだけに表示可能です。複数のブラウザでの同時アクセスには対応していません。
- データ暗号を「On」に設定すると、デモ画面の画像は表示されません。
- 設定画面は HTTPS 接続すると、検知枠が表示されません。
- デモ画面は HTTPS 接続に対応していません。
- 他の機能拡張ソフトウェアと同時に使用すると、デモ画面の被写体と枠の位置のずれが大きくなる場合があります。
- 撮影場所の明るさや被写体の動きなど、各種の設置条件やご利用環境により被写体を検出しにくい、または検出しなかったり、誤動作したりする場合があります。導入前に現地の環境評価に関する事前調査が必要です。
- 混雑検知機能の設定、あるいはその結果で被る不便、損害、被害に関して弊社は一切の責任を負わないものとします。
- 免責や個人情報の保護、商標および登録商標、著作権についてはお使いのカメラの取扱説明書をお読みください。